

T O P I C S

パール調の色漆で新製品開発を支援

—青く輝く輪島塗地球儀—

繊維生活部 梶井紀孝 (かじい のりたか)

kajii@irii.jp

専門：漆製造、工業意匠

一言：新しい技術、製品の開発を目指します。



工業試験場では、従来品より輝度が高い顔料(光を乱反射する雲母材)を用いて、パール調の鮮やかな色漆(パール塗)を開発し、県内の漆器業界に活用を提案してきました。

平成24年9月から輪島漆器商工業協同組合の若手グループが、このパール漆を応用した新しい輪島塗の開発事業(ワールド・ワイド・輪島プロジェクト)を実施しています。これまで同プロジェクトでは、パール調の色彩豊富なピアカップやスプーンなどを製品化し、工業試験場は、パール塗の調合方法などで協力してきました。

この度、先に開発したパール漆を改良し、雲母材と深みのある青色顔料との配合比を検討して、海を表現するパー

ル漆の調整方法を確立し、従来にない青く輝く地球儀(図1)を製作することができました。

製作された輪島塗地球儀は、平成25年11月17日から19日まで石川県輪島漆芸美術館にて展示発表され(図2)、多数の来場者から注目を集めました。また同時開催の漆サミット2013in輪島において、工業試験場からパール漆の技術をポスター発表し、新たに多くの企業から漆の使用方法について相談がありました。今後もパール漆を活用した新製品開発を支援して行きます。



図1 パール漆で海洋を表現した輪島塗地球儀



図2 石川県輪島漆芸美術館での展示風景